

Rinnai

ガス給湯器

設置工事説明書

この機器の設置には資格が必要です。

品名

RUK-V1610BOX
 RUK-V1610BOX-E
 RUK-V1611BOX
 RUK-V1611BOX-E
 RUK-W1611BOX
 RUK-W1611BOX-E
 RUK-W1611BOX(G)
 RUK-W1611BOX(G)-E

1 安全上のご注意

この機器を安全に設置・使用していただくために、下記のことを必ずお守りください。これらの注意事項は安全に関する重要な内容です。表示と意味は次のようになっています。

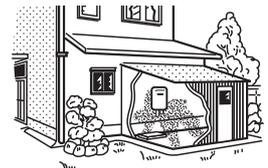
表示	意	味
危険	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。	
警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。	
注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。	

絵表示については次のような意味があります。

- 一般的な禁止
- 電源プラグをコンセントから抜く
- 必ずアース線を接続する
アースする

危険

- この機器は屋外設置型です。屋内（波板囲いを含む）に設置しないでください。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。



警告

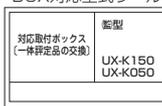
- この機器を安全に正しくご使用いただくために、この「設置工事説明書」をよくお読みになり、指定された工事を行ってください。本書の設置条件をはずれた設置が原因で生じた故障や損傷は、保証期間内であっても保証の対象となりませんのでご注意ください。
- 工事は必ず本書と「ガス機器の設置基準及び実務指針」（一般財団法人日本ガス機器検査協会刊）に従って行い、変則的な設置はしないでください。事故や火災の原因となります。
- 壁組込ボックス（別売部品）の設置工事説明書も併せてお読みください。
- 機器の設置・移動および付帯工事には専門の資格・技術が必要です。工事は必ずお買い上げの販売店または当社の支社・支店・営業所・出張所に依頼し、有資格者による正しい工事が行われるようにしてください。
- 必ず接地工事（アース）を行ってください。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線には接続しないでください。接地工事が不完全な場合は、感電の原因になることがあります。



アースする

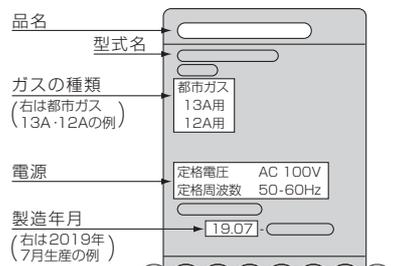
- BOX対応型式ラベルに表示してある取付ボックスを使用してください。表示以外のボックスで使用すると、火災などの原因になります。

BOX対応型式ラベル



- 設置する機器が使用するガスの種類（ガスグループ）および使用する電源（AC100V・50-60Hz共用）に適合していることを機器の銘板で確認してください。表示以外のガスを使用すると不完全燃焼や異常点火の原因になります。
- この機器はAC100V（50-60Hz）用です。AC100V以外の電源電圧では使用できません。
- 機器の設置場所が「2 設置場所の確認」の項の条件を満たしていることを確かめてください。
- この機器は一般家庭用です。業務用（飲食店など）に使用すると、機器の寿命が極端に短くなります。

※下図は銘板の一例です。



・ 社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に不具合（瑕疵）が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙の貼付（又は刻印等）がされている部品については、一般財団法人ベターリビングのBL保険制度に基づき保険金が支給されます。
 ・ BL保険制度や当住宅部品の施工要領の詳細については、一般財団法人ベターリビングのホームページ（<http://www.cbl.or.jp/>）をご覧ください。なお、BL保険制度に関する質問は、一般財団法人ベターリビング（TEL03-5211-0559）でもお受け致します。



070 00006 71839 1

U233-887X06(00)

2 設置場所の確認

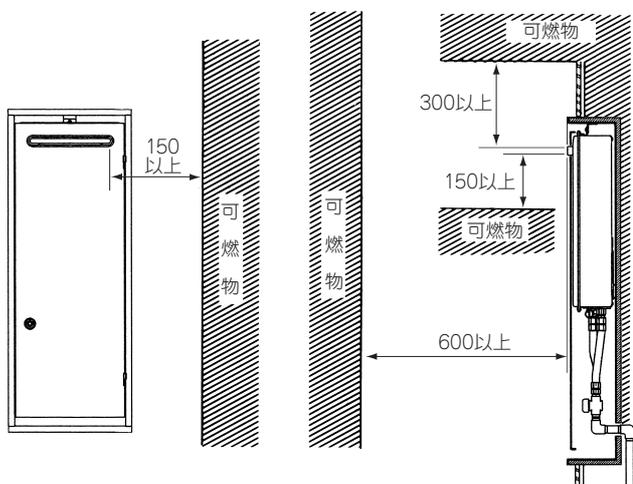
機器は安全に正しく設置してください。

- 設置場所をお決めになるとき、次の事項をよく読んでからお決めください。
- この機器は屋外壁組込設置専用です。屋内には絶対に設置しないでください。
- 近隣の家に騒音で迷惑にならない場所に設置してください。
- 建物の設計段階から設置方法ならびに配管・配線工事方法に関し、十分打合わせをしておいてください。
- この機器は専用の壁組込ボックスと組み合わせて設置するものですので、給湯器部分のみを分離して設置することはできません。
- 外壁で、当該部分の構造が建築基準法施行令（昭和25年11月16日政令第338号）第107条第1号もしくは第2号に規定する耐火構造または第108条第1号、第2号もしくは第4号に規定される防火構造（以下「防火構造」という）であることが法令上要求される場所に給湯器を設置する場合は、当該給湯器を埋込む部分の防火性能が、それぞれの周囲の構造と同等以上であることの確認が必要です。
- 壁組込設置は、壁面の強度上の問題を配慮して、新築の建物に限定します。
- 木造の共同住宅の開放廊下に設置する場合は、当該廊下部分を構成する壁および床が防火構造であり、かつ、地上へ通じる階段が不燃材料で造られていることが必要です。
- 階段・避難口などの付近に設置する場合は、階段正面および周囲2mの範囲の部分は避けてください。
- 集合住宅の共用片廊下に設置する場合には1200mm以上の避難通路を確保してください。また、排気口の下端は床面より1800mm以上とってください。
- 避難通路となるベランダに設置する場合は、有効な避難通路幅600mm以上を確保してください。
- 壁組込設置の場合、壁組込ボックスの様式などについて、各地消防署・水道局などの規制がありますので、建築業者とよく打合わせをするとともに、事前に各地消防署・水道局などの確認をとってください。
- この機器は海拔1,000mまで使用できます。1,000m以上で使用すると、点火不良などの不具合が発生することがあります。

火災予防について

- ガソリン・ベンジン・接着剤などの引火性危険物を扱う場所には設置しないでください。
- 機器を設置する場所の周囲の壁・天井などが防火上安全なものであるか、または防火上有効な間隔をとることができる場所に設置してください。

(単位: mm)

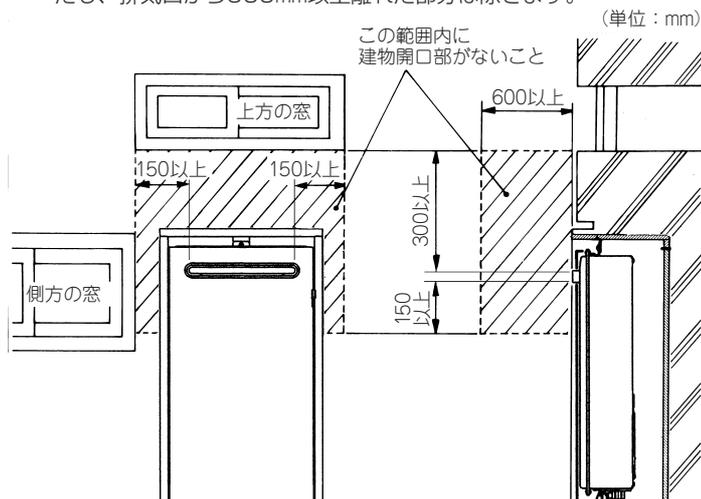


給排気について

1. 屋外壁掛設置の場合

- 給気・排気が十分できる場所（開放スペース）に設置してください。壁などに囲まれた場所への設置は不完全燃焼の原因となります。

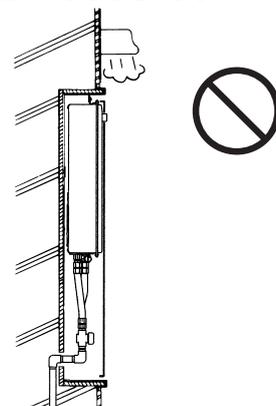
- 機器の排気口から、下記寸法を壁面に投影した範囲内に、燃焼排ガスが室内に流入するおそれのある開口部がないことが必要です。ただし、排気口から600mm以上離れた部分は除きます。



- 地域によっては火災予防条例などで規制されている場合があります。その場合は条例に従って取り付けてください。
- 線入板ガラスの耐熱強度は、一般ガラスの約半分程度で割れやすいため、機器の排気方向（約1m以内）に線入・網入板ガラスなどがある場合、燃焼排ガスの熱でガラス壁面が割れるおそれがありますので設置をさけてください。

設置場所の雰囲気について

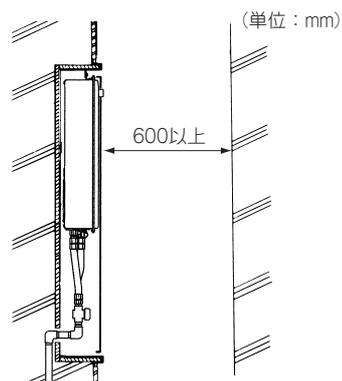
- アンモニア・塩素・硫黄・酸類など腐食性ガスの発生する場所には設置しないでください。熱交換器のつまりなどにより不完全燃焼の原因となります。
- 換気扇・レンジフードなどからの風が機器の給排気に影響を与える場所への設置はしないでください。



- 別売の台所リモコンは、ガステーブル・ガスコンロなど燃焼機器の上には設置しないでください。変形したり、性能が悪くなったり、電子部品がこわれたりします。また、蒸気・水しぶき・水滴・直射日光のあたる場所には設置しないでください。

保守・点検のためのスペース

- 機器点検・修理ができるよう十分なスペースを確保し、特に機器前方は600mm以上の空間を設けてください。



- 高所の外壁に機器を設置する際は機器本体正面で作業を行うことができ、かつ2階以上では落下防止の手摺などの措置のある場所（ベランダなど）に設置してください。

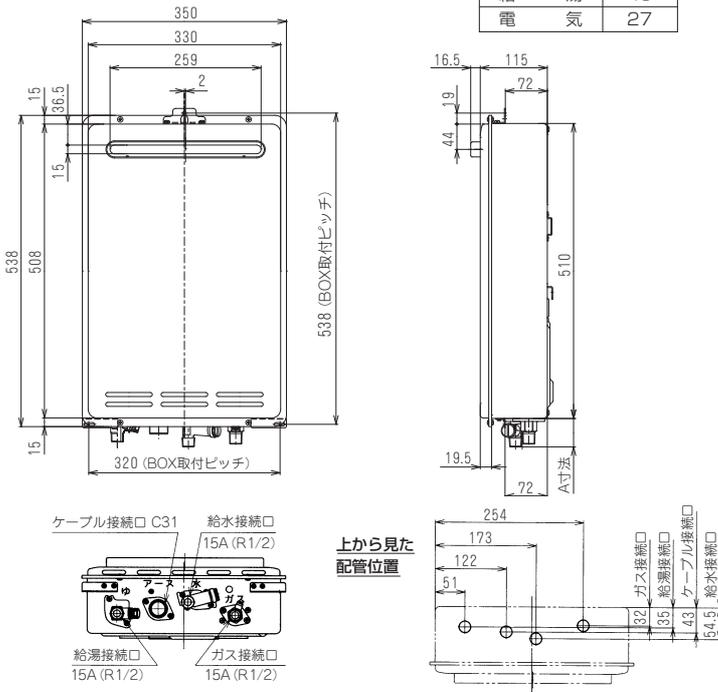
3 外形寸法図

(単位: mm)

● 機器本体

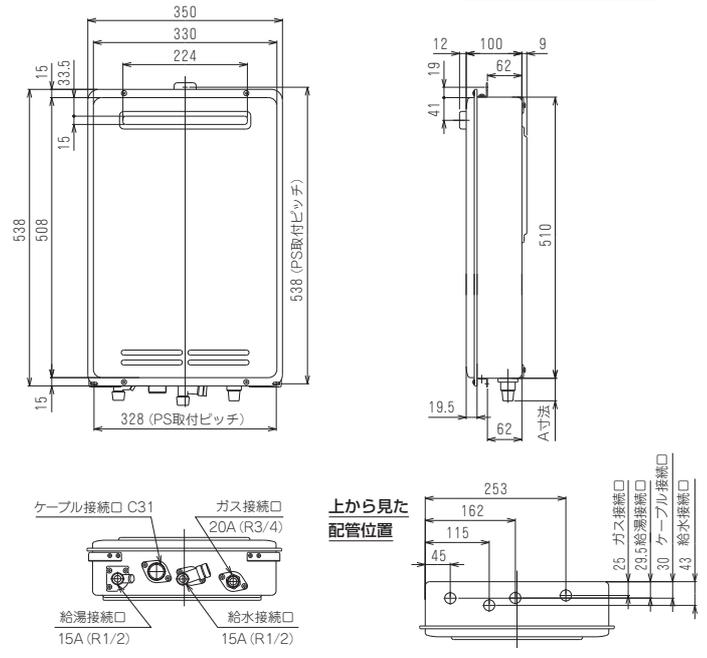
RUK-V1610BOX・BOX-E
RUK-V1611BOX・BOX-E

		A寸法
ガ	ス	44
給	水	49
給	湯	40
電	気	27

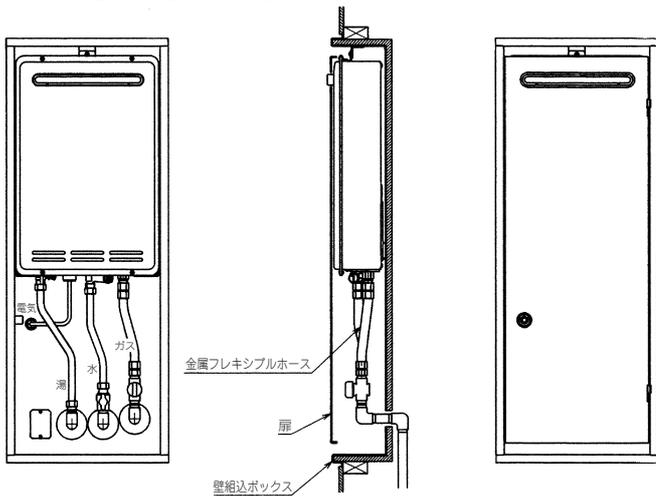


RUK-W1611BOX・BOX-E
RUK-W1611BOX(G)・BOX(G)-E

		A寸法
ガ	ス	41
給	水	49
給	湯	40
電	気	27



● 壁組込ボックス (詳細寸法は各壁組込ボックスの設置工事説明書参照)



4 付属部品

梱包内には下記の付属部品が入っています。
設置工事の前にご確認ください。

品番	部品名	個数	備考
1	小ねじ (M5×10)	3	壁組込設置用
2	BOX取換ラベル	一式	
3	取扱説明書	1	保証書付
4	設置工事説明書	1	本書
5	所有者票	1	個人情報保護シール付

注) 品番2の「BOX取換ラベル」は数種類同梱されていますが、使用するのには該当するボックスの型式名が書いてあるものだけをです。それ以外のラベルは使用せず、必ず処分してください。

5 別売部品

● 別売部品は機器の必要に応じて別途お買い求めください。

品名	型	式
台所リモコン	MC-145V MC-140V MC-70V-1 MC-70V	1611シリーズ以外に接続できます。
浴室リモコン	BC-145V BC-140V BC-70V-1 BC-70V	
増設リモコン	SC-120 SC-70	W1611シリーズ以外に接続できます。

品名	型	式
台所リモコン	スタンダードタイプ	MC-135 MC-33-A MC-33-3
浴室リモコン		BC-135 BC-45-A BC-45-3
BC壁貫通取付セット		BC-KT-3
		BC-KT
浴室リモコン 壁厚調節パイプ	取付壁厚 (mm) 190~280 280~370	{部品コード} 801-003-000 (標準品はBC-45-3と) 801-004-000 (BC-KTシリーズに付属)

品名	型式
2芯ケーブル (台所・増設リモコン用)	UC-25-□□ UC-27-□□ (リモコン側…Y型端子) (機器側…Y型端子)
コネクタ付2芯ケーブル (浴室リモコン用)	UC-25C-□□ UC-27C-□□ (リモコン側…2Pコネクタ) (機器側…Y型端子)
コネクタセット	UX-2-C (UC-25-50・UC-25-100・UC-27-50・UC-27-100ケーブルをコネクタ付に改造する場合に使用)

●この機器の設置には専用の壁組込ボックスと配管部品セットが必要です。また、壁組込ボックスと配管部品セットは必ず下表の組み合わせで使用してください。

壁組込ボックス		配管部品セット
UX-K155(B)-ウシロ	RUK-V シリーズ用	UX-K151-1/2
UX-K155(B)-シタ		
UK-K155(B)-MAウシロ		
UK-K155(B)-MAシタ		
UK-K150-ウシロ	RUK-W シリーズ用	
UK-K150-シタ		
UK-K150-MAウシロ		
UK-K150-MAシタ		
UK-K150-NHウシロ		
UK-K150-NHシタ		
UK-K150-ctmウシロ		
UK-K150-TK		

6 機器の設置工事

⚠ 注意

- 改造前の既設取付ボックスについて、以下のことを確認してください。
 - 取付ボックスおよび取付ボックスの給湯器取付用金具は、耐食性のある材料か表面に耐食処理を施してあること。ただし、既設取付ボックスおよび取付用金具が、耐食性を有する材料であることが確認できた場合は省略できます。
 - 取付ボックスは、扉を除いて溶接不良やひび割れなどの隙間がないこと。
 - 扉を有するものにあつては、次の内容を確認してください。(現場手配の場合)
 - 扉の材料は鋼製であることを目視で、板厚0.8mm以上であることをノギスなどで確認。
 - 扉によって給湯器の給排気を妨げない構造であること。

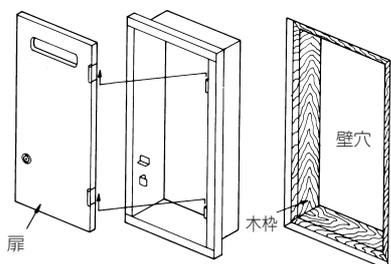
- 扉が給湯器の全面を覆っている場合は、給湯器が設置されている部分の上下に各々100cm²程度の換気口を設けていることをスケールなどで確認。
 - 扉に錠を設ける場合は、コインなどで容易に開けられる構造であること。
- 上記(1)(3)の内容が良好でない場合は、標準ボックスに交換してください。
 - 改造によって階段・廊下および避難口などに必要な空間の確保を妨げないこと。
(空間の確保については「ガス機器の設置基準及び実務指針」に従っていることを確認)

●給湯器の設置場所については、建築基準法や電気設備技術基準・ガス事業法・液化石油ガス法・消防法に基づく火災予防条例などによって防火処置の基準が定められています。以下の事項の他に、各都道府県市町村の条例に従ってください。

●旧型ボックスからの買い替えについては、取り換えオプションに付属の工事説明書をお読みください。※RUK-Vシリーズ

1. 壁組込ボックスの取り付け

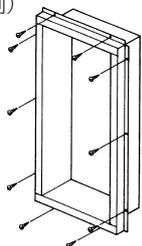
※以下のイラストは一例としてUX-K155を示します。他のタイプおよび詳細は各壁組込ボックスの設置工事説明書をご覧ください。



●扉をはずし、外壁開口部に壁組込ボックスを挿入します。

2. 壁組込ボックスの固定

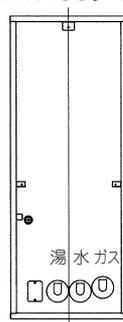
- 壁組込ボックスを外壁に固定する前に配管位置が正しいか確認してください。
- 壁組込ボックスの固定方法は各壁組込ボックスで異なります。詳細は各壁組込ボックスの設置工事説明書をご覧ください。(下図はUX-K155タイプの例)



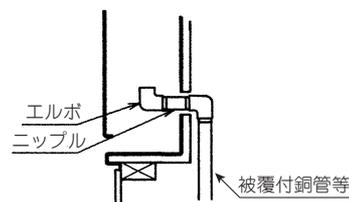
●壁組込ボックスと外壁との隙間を全周コーキング材でシールしてください。

3. 壁組込ボックス外の配管工事

- 壁組込ボックスにいたるまでの配管工事(ガス・給水・給湯)を行います。壁組込ボックス内への配管は各壁組込ボックスに必要な部材が異なります。詳細は各壁組込ボックスの設置工事説明書をご覧ください。ただし、この段階では後工程で配管のズレが微調整できるように仮止めとしてください。(下図はUX-K155タイプの例)

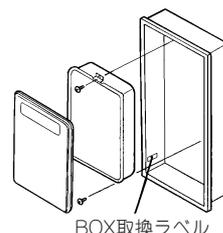


●給湯・給水・ガス配管



4. 給湯器の取り付け

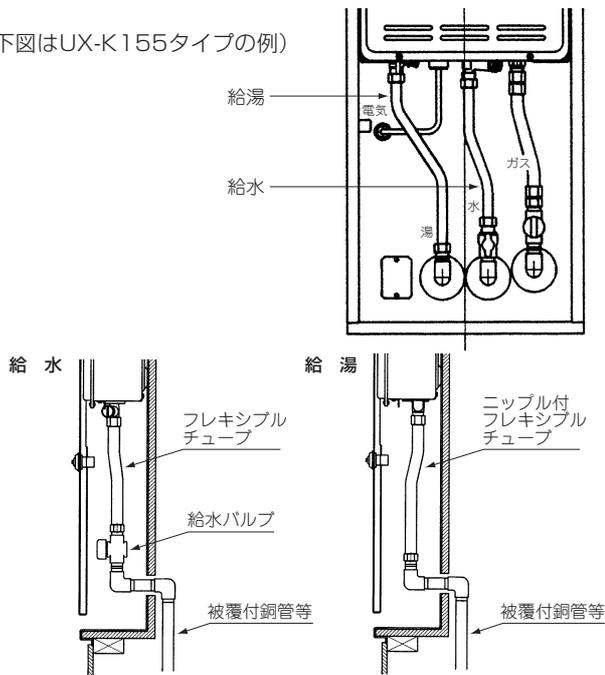
- 給湯器のフロントカバー止めねじ4本はずし、フロントカバーを取りはずしてください。
- 壁組込ボックス上部取付金具に給湯器に付属のM5 ⊕ 小ねじを途中までねじ込んでください。
- 機器の取付金具上の穴をM5 ⊕ 小ねじに引掛けてください。
- 機器の取付金具下を壁組込ボックス取付金具下にM5 ⊕ 小ねじで止めてください。
- 上部取付金具のM5 ⊕ 小ねじを締めてください。
- フロントカバーをもと通りに取り付けてください。
- 手で上下左右に揺すって、移動やガタつきがないことを確認してください。
- 付属の「BOX取換ラベル」のうち、該当する型式名が書かれたものをボックス内の見やすい位置に日付を記入して貼ってください。



7 給水・給湯配管工事

- 配管工事は給水事業者の指定工事店に依頼し、給水事業者の規定に従ってください。
- 水源に市水道を使用する場合は、各市町村水道局の条例に基づき施工してください。
- 温泉水や地下水や井戸水で使用すると、水質によっては機器内配管に異物が付着するなど、耐久性を損なうことがありますので、機器に接続しないでください。

(下図はUX-K155タイプの例)

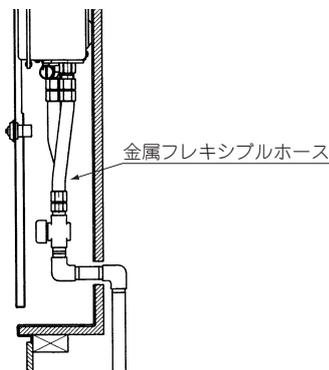


配管上のご注意

- 給水・給湯配管の機器との接続部分は、必ず各組込ボックス専用の配管部品セット(別売部品の項参照)を使用してください。
- 給水・給湯の配管接続は15A(R1/2)になっています。配管径は給水・給湯とも15Aで配管してください。
- 給水配管と機器を接続する前に給水元栓を開けて、給水配管内のゴミ・砂を流し出してください。そして接続後、通水テストを必ず行い、給水元栓を閉めてから給水接続口内部のストレーナを取り出し、ストレーナを掃除してください。
- 給湯配管は金属製の管(銅管など)を使用してください。鉛管・塩ビ管は使用しないでください。
- 銅管を使用する場合は、必ずロー付けにて接続してください。
- ガス・給水・給湯配管の接続完了後、配管サドル(現地調達)にて各々の配管を固定してください。
- 配管貫通穴はパテで穴埋めし(気密処理)、付属の化粧リング(粘着剤付)で仕上げてください。
- 給水・給湯配管(フレキシブルチューブを含む)はすべて保温してください。

8 ガス配管工事

- ガス配管に必要な部材は各壁組込ボックスで異なります。詳細は各壁組込ボックスの設置工事説明書をご覧ください。



- 継手類はできるだけ少なくし、複雑な配管はさけてください。
- 配管途中に空気溜りのできるように配管はさけてください。
- ※配管材料は必ず関係水道局の承認または検査に合格したものを使用してください。

給水配管

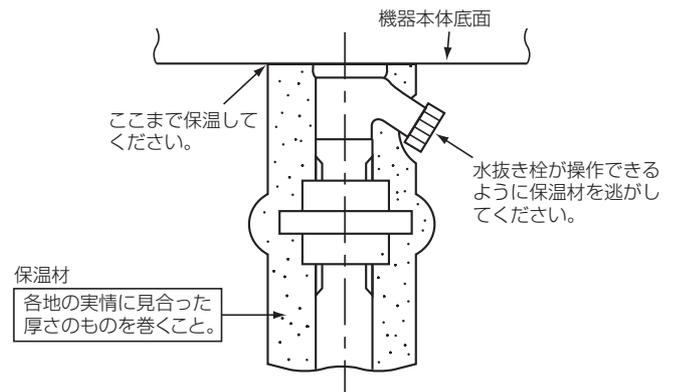
- この機器の最低作動水圧は10kPa(約0.1kgf/cm²)です。
- この機器をお客様に快適に使っていただくには、給水圧が150~600kPa(約1.5~6kgf/cm²)は必要です。特に給水圧が低い場合には、機器の能力が十分に発揮されず、お客様とのトラブルの原因にもなりますので、加圧ポンプを設置するなどの対策を講じてください。
- ※給水圧は通水時の圧力です。
- 給水圧が高い場合は、減圧弁を取り付けるかウォーターハンマー防止措置を行ってください。

給湯配管

- 混合水栓は通水抵抗の少ない機種を選んでください。また、シャワーヘッドは極力、瞬間湯沸器用の圧力損失の少ないものを使用してください。
- 配管はできるだけ給湯器と同じ高さで行ってください。階上に配管する場合は余分に給水圧力が必要になります。(1mにつき10kPa(約0.1kgf/cm²)ずつ余分に必要になります)
- できるだけ短距離に配管してください。給湯配管が長くなれば、それだけお湯の出始めが遅くなり、燃料のムダにもなり使用上不便を感じます。
- 2カ所以上で同時にお湯を使用するときには、給湯配管の方法・給湯栓の開き具合によってそれぞれの給湯栓からのお湯の量が異なることがあります。特に給湯器から遠い場所・高い位置の給湯栓ではお湯が出ない場合もありますので、十分ご検討のうえ設置してください。

凍結予防

- 給水・給湯配管からの水漏れがないことを確認したのち、配管を完全に保温してください。
- 配管内の水抜きが容易にできるように処理をしてください。
- 水抜き栓を保温材で包み込まないでください。



- 寒冷地においては、配管に電熱ヒータを巻きつけるなどの凍結予防措置を行ってください。

1. 機器へのガス接続に必要な資格について

- 都市ガス用機器の場合、内管工事士・簡易内管施工士・ガス機器設置スペシャリスト・ガス可とう管接続工事監督者のいずれかの必要な資格を有する者が施工すること。
 - LPガス用機器の場合、液化石油ガス設備士の資格を有する者が施工すること。(ガス機器設置スペシャリストは「燃焼器用ホース」の交換のみ施工可能)
- なお、液化石油ガス設備工事を行う事業者は、事業所ごとに所在地を管轄する都道府県知事に「特定液化石油ガス設備工事事業開始届書」を提出する必要があります。

2. ガス栓

- 給湯器本体までの立上り配管部に金属フレキシブルホースおよびガス中間コック（(株)藤井合金製作所製 中間コック F-341, N-341 (1/2) または同等品を使用してください）を取り付け、接続してください。

3. ガス接続

- この機器のガス接続口径は、RUK-Vシリーズは15A (R1/2)、RUK-Wシリーズは20A (R3/4)になっています。

9 電気工事

- この機器にはAC100V電源が必要です。電気配線については電力会社の指定工事店にご依頼ください。
 - 電源ケーブルが余る場合は機器の外で処理してください。（機器の中へは絶対に押し込まないでください）
 - 電源ケーブル・リモコンケーブルの工事終了後、壁組込ボックスのケーブル貫通穴はパテで穴埋め（気密処理）してください。
- ※ケーブル類は壁組込ボックス内でたるませてください。

接地工事について

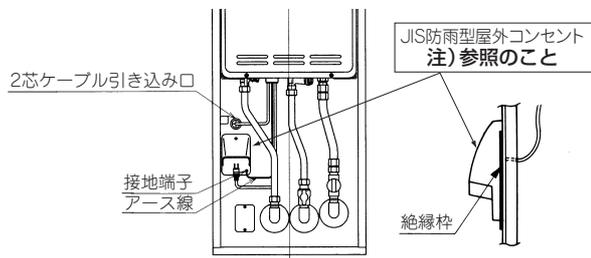
- 電気設備技術基準によるD種接地工事（アース工事）が必要です。接地工事が不完全な場合は感電の原因になることがあります。
- アース棒などを使用する接地工事は、電気工事士が行ってください。
- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線には接続しないでください。
- 電気設備技術基準により、漏電したとき自動的に回路をしゃ断する装置（漏電しゃ断器）を電源側に設置してください。



工事手順

1. 付属の電源ケーブルを使用する場合

（下図はUX-K155タイプの例）



注) 地域によっては壁組込ボックス内にコンセントが設置できない場合がありますので、各地域の条例などを十分にご確認のうえ配管工事を行ってください。

- 壁組込ボックス内に、JIS防雨型屋外コンセント（設置端子付）を取り付けてください。取り付けの際、ボックス本体と確実に絶縁してください。
- (1) 機器底面の「アース」の文字で表示されたねじにアース線を接続してください。
 - (2) コンセントの接地端子にアース線を接続してください。
※アース線は公称導体断面積2mm²以上の被覆銅線を使用してください。
 - (3) 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

2. ケーブル工事をする場合

※端子台へのねじ締めは必ず手締めで行い、電気ドライバーは絶対に使用しないでください。基板破損のおそれがあります。

- (1) 機器のフロントカバーを取りはずしてください。（ねじ4本）

- この機器は金属管接続ですので、ゴム管接続はできません。
- 接続はガス事業者の指定する工事店に依頼してください。
- 給湯器は多量のガスを短時間に燃焼しますから、ガス量が十分供給されるようにご検討ください。
- LPガスをご使用の場合LPガス容器は50kg2本を併用してください。また、機器からは2m以上離して設置してください。

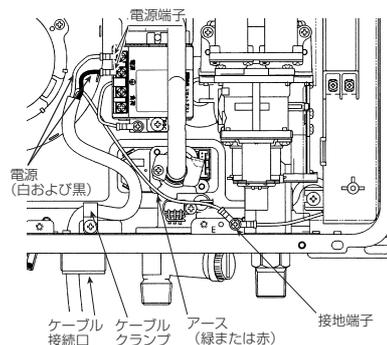
- (2) 機器の電源ケーブルを取りはずしてください。
- (3) 機器本体底面のケーブル接続口より電源ケーブルを引き込んでください。

※電源ケーブルは下記を使用してください。

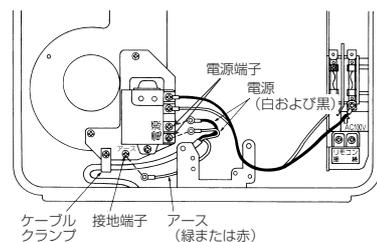
100V電源ケーブル (パイプシャフト用)	ビニールキャブタイヤケーブル VCT 公称導体断面積2mm ² ×3芯
--------------------------	--

- (4) 電源ケーブルの黒・白線を機器本体内の電源端子に、他の色（緑または赤）をアース用として本体内の接地端子（「E」の文字で表示）に、それぞれ接続してください。
- (5) 電源ケーブルを下図のように、ケーブルクランプで固定してください。

RUK-Vシリーズの場合



RUK-Wシリーズの場合



- (6) 分電盤のスイッチを「切」にしてください。
●分電盤は専用回路としてください。
- (7) 分電盤の電源用端子に電源ケーブルの白線および黒線を、アース端子に他の色（緑または赤）の線を接続してください。
注) 分電盤アース端子の接地抵抗（100Ω以下）を確認してください。
- (8) 分電盤のスイッチを「入」にしてください。
- (9) 機器本体内の漏電安全装置の動作確認をしてください。
- (10) フロントカバーをもと通りに取り付けください。

10 別売リモコンの接続

- この機器は本体だけで恒温タイプとして使用できますが、別売のリモコンを接続すればさらに便利にお使いいただけます。
- 機器を恒温タイプとして使用する場合、給湯栓は必ず混合水栓を使用してください。
- 台所・浴室または増設リモコンのいずれか一台だけを接続することもできます。
- 台所・浴室および増設リモコンのうちのいずれか二台を接続するマルチ接続もできます。ただし、スタンダードタイプとデラックスタイプ（増設リモコンは除く）の組み合わせはできません。
- 台所・浴室および増設リモコンを各一台接続するトリプル接続もできます。※W1611シリーズは除く

- 2芯ケーブルは別売のUC-27-□□・UC-27C-□□を使用してください。
- 機器本体からリモコンまでの接続線は24V以下ですので、この配線工事は「小勢力回路の工事」に該当し、電気工事士の資格がなくても工事できますが、電気設備技術基準に合った電気工事を施工してください。
- 2芯ケーブルが余る場合は機器の外にて処理してください。（機器の中へは絶対に押し込まないでください）

※端子台へのねじ締めは必ず手締めで行い、電気ドライバーは絶対に使用しないでください。基板破損のおそれがあります。

■リモコンの取り付け

- リモコンに同梱されている「リモコン設置工事説明書」を参照して正しく取り付けてください。

■機器との接続

- 電源プラグを抜いてください。

(分電盤の専用スイッチを「切」にしてください)

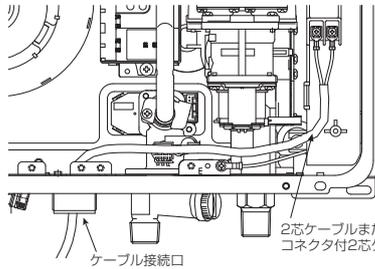
電源を入れたままケーブル工事をしますと電装品が破壊されることがあります。



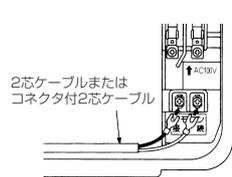
- (1) 機器本体のフロントカバーを取りはずしてください。
- (2) 機器本体底面のケーブル接続口から2芯ケーブルを引き込んでください。
- (3) 電装ユニットの2P端子に2芯ケーブルを接続してください。
(⊕)⊖の極性はありません)

リモコンを1台だけ接続する場合

RUK-Vシリーズの場合

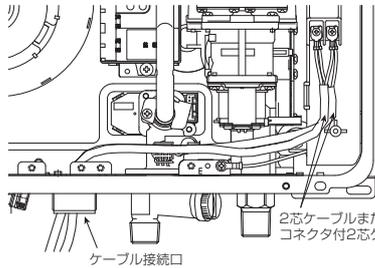


RUK-Wシリーズの場合

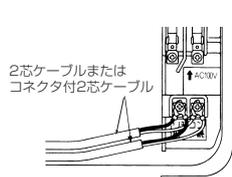


マルチまたはトリプル接続の場合

RUK-Vシリーズの場合



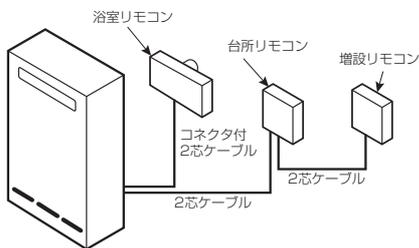
RUK-Wシリーズの場合



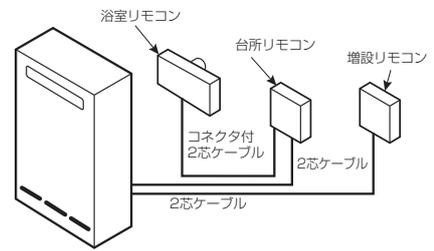
- マルチ接続の場合は、上の図のようにダブルで接続してください。
- トリプル接続の場合は、どれか一台のリモコンを台所リモコンまたは増設リモコンを中継して接続してください。(以下の接続例参照)

※W1611シリーズは除く

・接続例1



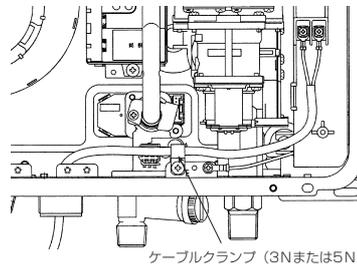
・接続例2



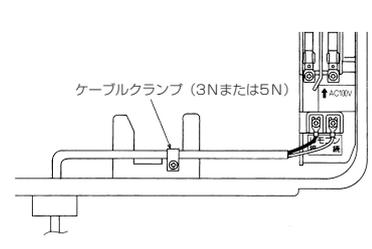
- (4) 2芯ケーブルを下図のようにリモコンに付属(※)のケーブルクランプ(3Nまたは5N)で固定してください。

リモコンを1台だけ接続する場合

RUK-Vシリーズの場合

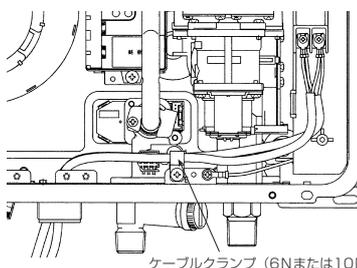


RUK-Wシリーズの場合



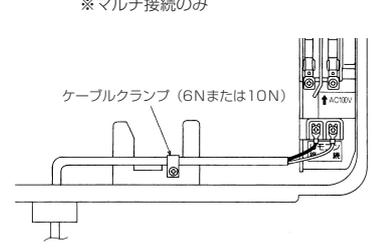
マルチまたはトリプル接続の場合

RUK-Vシリーズの場合



RUK-Wシリーズの場合

※マルチ接続のみ



- マルチ接続・トリプル接続の場合は、2芯ケーブル2本をリモコンに付属(※)のケーブルクランプ(6Nまたは10N)と一緒に固定してください。
(※) MC-145V・BC-145V・MC-135・BC-135の場合は現場手配してください。
- (5) フロントカバーをもと通りに取り付けてください。
- この機器はリモコンに異常(故障・ケーブル断線など)が生じた場合、自動的に恒温タイプとなります。
- リモコン異常時の出湯温度は本体の電装ユニットで設定した温度(42℃・60℃または70℃<75℃)になります。※<>内はW1611シリーズ
※詳しくはフロントカバー裏面に収納されている配線図を参照してください。

※リモコンコードが機器のヒータに接触しないように配線してください。
また、リモコンコードを設置したことにより、ハーネスなどがヒータに接触していないか確認してください。

11 設置工事後の確認

設置工事が終わりましたら、もう一度機器まわりの工事について点検をしてください。

■機器の設置状態

- 可燃物および可燃性部分との離隔距離は確保されていますか。
- 日常の使用および点検に支障をきたしませんか。

■給水・給湯・ガス配管

- 配管接続部から水・ガス漏れがありませんか。
- 給水圧力は十分ありますか。
- ガス圧力は適切ですか。

12 試運転および試点火

- 取扱説明書の内容に基づき、試点火を行い、正常に動作することを確認してください。
- ガス配管中に空気が溜まっている場合には点火しないことがあります。その場合には、右記の手順に従って実施してください。

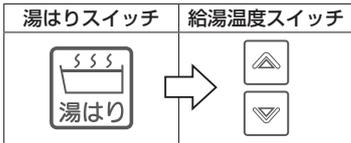
- (1) リモコンが接続されている場合は、リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。
- (2) 給湯栓(混合水栓のお湯側)を全開にしてください。
- (3) 15秒程たったのち、給湯栓を閉めてください。
- (4) 上記(2)および(3)を繰り返し、お湯が出ることを確認してください。

■湯はり量の設定 (MC-145V・BC-145Vを接続する場合)

- 運転スイッチが「入」の状態、湯はりスイッチを押してから、給湯温度スイッチ ▲ ▼ でお客様宅の浴槽の大きさに合った湯はり量に設定してください。



水位表示	湯量表示	湯量 (リットル)
—	99	990
—	40	400
6	35	350
6	30	300
5	28	280
5	26	260
4	24	240
4	22	220
3	20	200
3	18	180
2	16	160
2	14	140
1	12	120
1	10	100
1	8	80
1	6	60



- 設定できる湯はり量は右上の表の16通りで、▲ を1回押すたびに増え、▼ を押すと減ります。また、400、990、80、60リットルにしたいときは▲ または▼ を1秒以上押し続けてください。
- 湯はり量の表示は、湯はりスイッチを押してから約10秒間表示され、その間に給湯温度スイッチを押すと約10秒表示が継続します。湯はり量の表示が消えたら設定完了です。

(下図は 180リットルの例)



■湯はり量の設定 (MBC-145V以外のデラックスタイプのリモコンを接続する場合)

- MC-140V・BC-140Vの場合は、運転スイッチが「入」の状態、リモコンのフタの中にあるお湯はり湯量スイッチを押してから、給湯温度スイッチ ▲ ▼ でお客様宅の浴槽の大きさに合った湯はり量に設定してください。



- MC-70V-1・BC-70V-1・MC-70V・BC-70Vの場合は、運転スイッチが「入」の状態、リモコンのフタの中にある湯量スイッチで、お客様宅の浴槽の大きさに合った湯はり量に設定してください。



湯量 (リットル)	水位表示 (下から)
(990)	表示なし
(400)	表示なし
350	12
300	11
280	10
260	9
240	8
220	7
200	6
180	5
160	4
140	3
120	2
100	1
80	(1)
60	(1)

- 設定できる湯はり量は左下表の16通りで、▲ ▲ を1回押すたびに増え、▼ ▼ を押すと減ります。また、400リットルにしたいときは▲ ▲ を1秒以上押し続けてください。
- このとき表示画面の時刻表示部が、約5秒間湯はり量の表示に変わります。(下図は 180リットルの例)

台所リモコン		浴室リモコン	
MC-140V		BC-140V	
MC-70V-1 MC-70V		BC-70V-1 BC-70V	

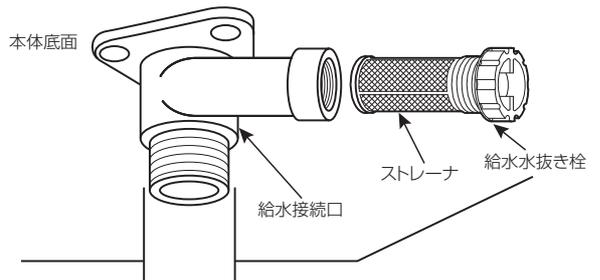
■湯はりのオートストップ機能の説明のポイント

1. リモコンの運転スイッチを押して「入」にします。
 2. 湯はりスイッチを押してから、浴槽のお湯の蛇口を開けます。
 - ・湯はりスイッチを押すと、音声で「浴槽へお湯を入れる準備ができました。ふろのお湯の蛇口を開いてください。」とお知らせします。
 3. 設定した湯はり量になると、機器が自動的にお湯を止め、ブザーと音声でお知らせします。「湯はりが終わりました。ふろの蛇口を閉めてから湯はりスイッチを押してください。」
 - このとき蛇口から少量のお湯が出て、すぐ止まらないことがあります。これは配管中のお湯が一時的に出る「後ダレ」現象で、機器の故障ではありません。
 4. 音声に従って、必ず蛇口を閉めてから湯はりスイッチを押して「切」にしてください。
- 【ご注意】
特に蛇口を閉め忘れると、その後お湯が使えなくなりますので、必ず湯はりの蛇口を閉めていただくようお願いしてください。

- 試運転が終わりましたら、すぐご使用になる場合を除きガス栓を閉め、取扱説明書に従って必ず水抜きを行ってください。
- この機器は常時約5Wの電力を消費しますので、すぐご使用になる場合を除き、必ず電源プラグを抜いてください。(分電盤の専用スイッチを「切」にしてください)

※凍結予防の水抜き

- 通水後、配管や機器内に残った水は、お客様が使用されるまでの期間放置すると、凍結して機器が破損するおそれがありますので、完全に水を抜きとってください。
- デラックスタイプのリモコンが接続されている場合は、湯はり運転が解除されていることを確認してから水抜きを行ってください。
- 水抜き終了後に再度ストレーナの掃除を実施してください。



お客様への説明

- 取扱説明書によって、使用方法を説明してください。特に「安全上のご注意」「使用方法」をよく説明してください。
- 保証書に必要な事項を記入のうえ、お客様にお渡しして、取扱説明書に従って「保証・サービス」について説明してください。